



# 2019年3月期決算説明会資料

2019/05

# 免責事項

- 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2019年5月16日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



01

2019年3月期実績 ..... 4

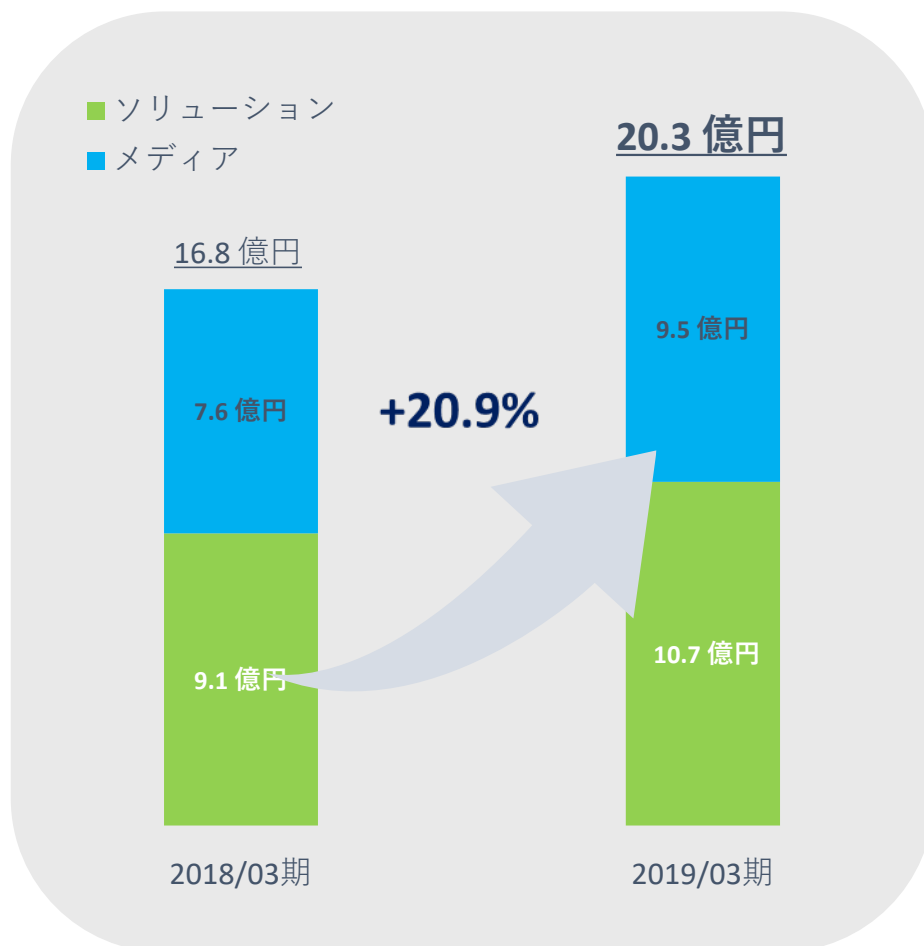
02

2020年3月期計画 ..... 18

03

APPENDIX ..... 32

# 売上高は「20%増」



メディア事業、ソリューション事業とも順調に伸長

※本書に記載の2018年3月期の損益数値は、断りのない限り、同レベルでの比較を行うため、2018年3月期連結数値を記載しておりますが、これら数値は未監査であります。なお未監査である理由は、当社は2018年3月期に実施したグループ再編により2018年3月期末に非連結会社となっており、2018年3月期末の財務諸表が存在しないことによるものであります。

# 営業利益は「132%増」 (2.3倍)



現在の両事業について、収益の再現性、  
効率性が高いビジネスモデルが奏功

売上増に伴い利益率が拡大し、営業利益  
は倍増超

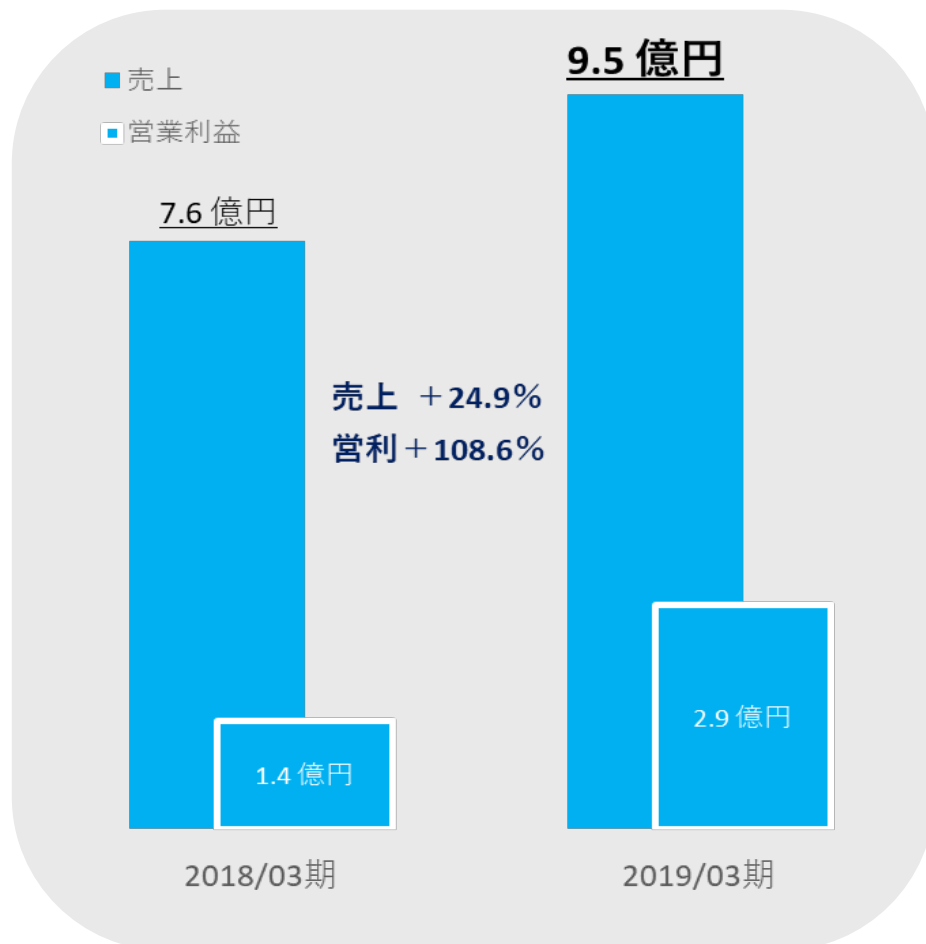
# EBITDAは4.9億円に伸長



継続的な成長の指標として重視する  
EBITDAは前期比+2億円の4.9億円を達成

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

# メディア：24%増収・108%営業増益



利用者数増大に伴い成果報酬型を中心に広告収入が拡大。収益増に貢献

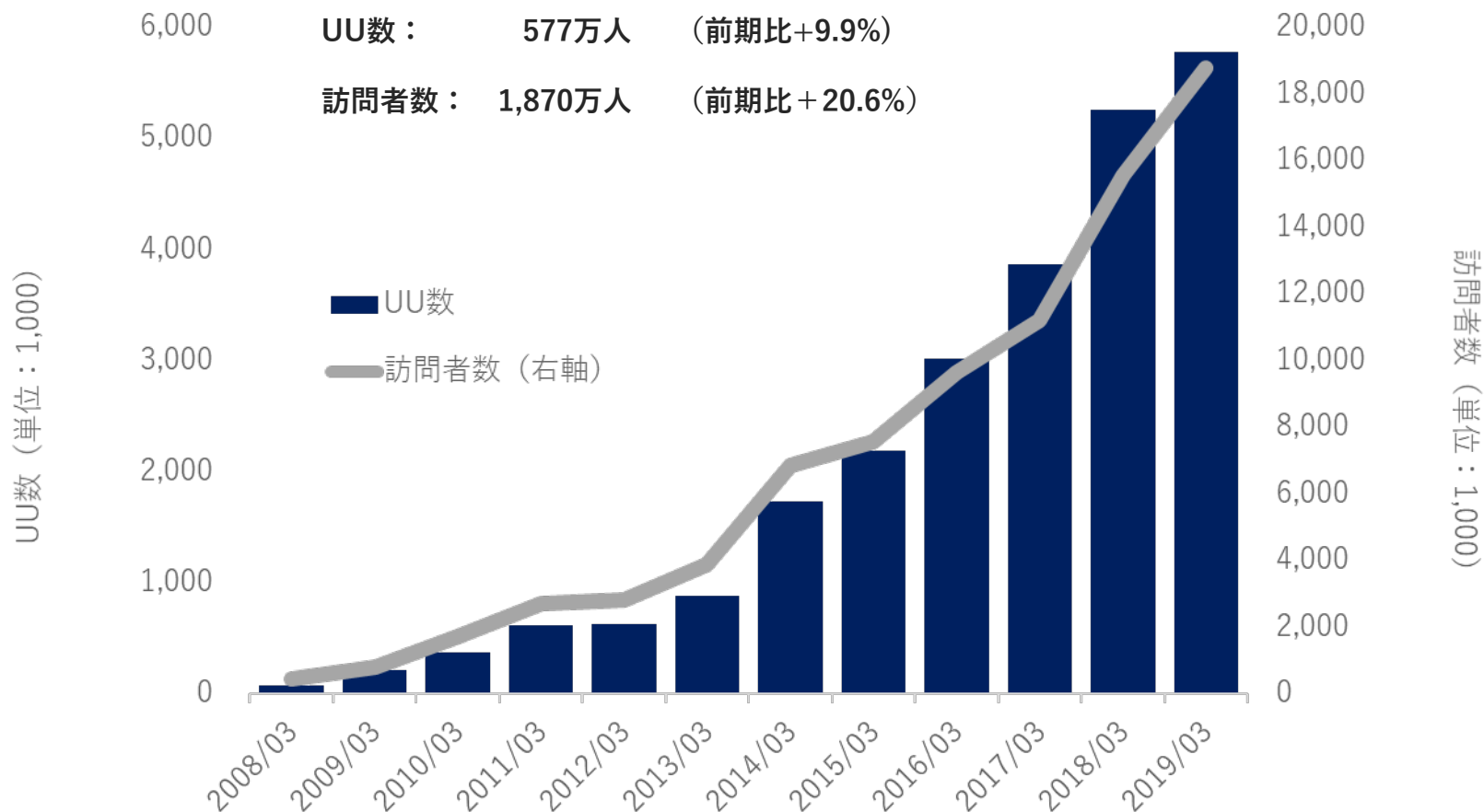
2018年3月期開始の課金サービスでは、課金収入の安定寄与を確認

# メディア：利用者数は安定的に成長

当社自社運営サイト合計月間平均

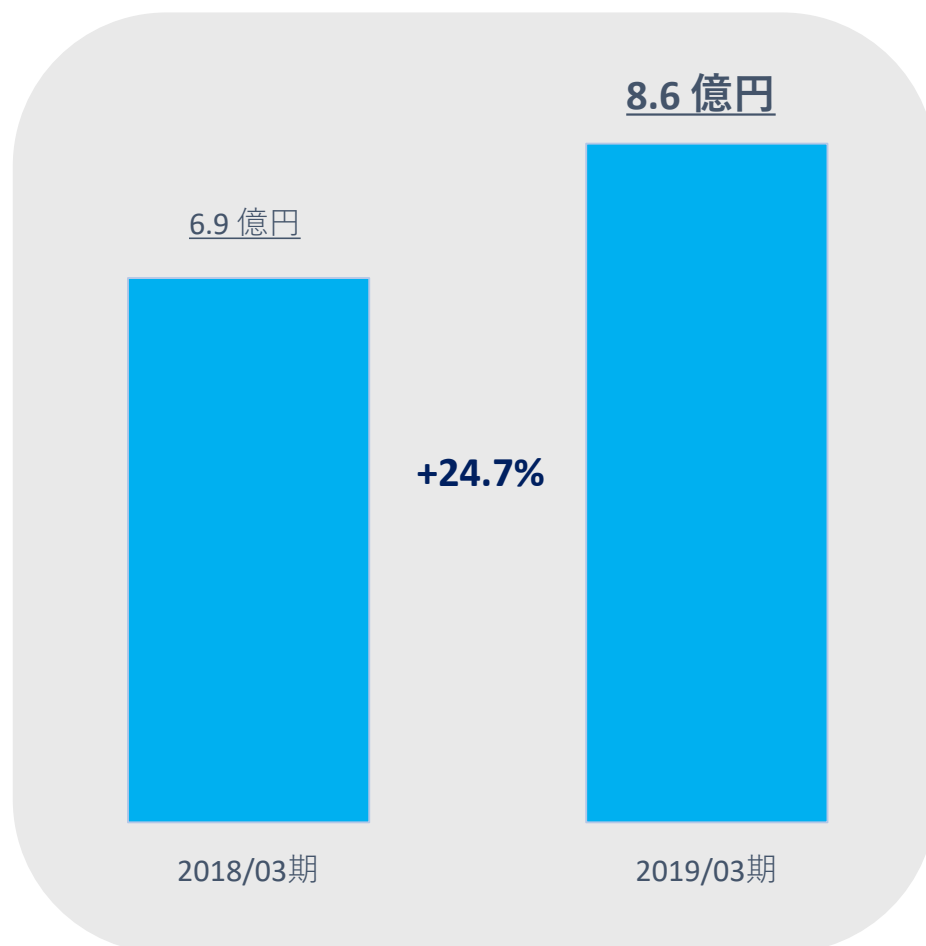
UU数： 577万人 (前期比+9.9%)

訪問者数： 1,870万人 (前期比+20.6%)



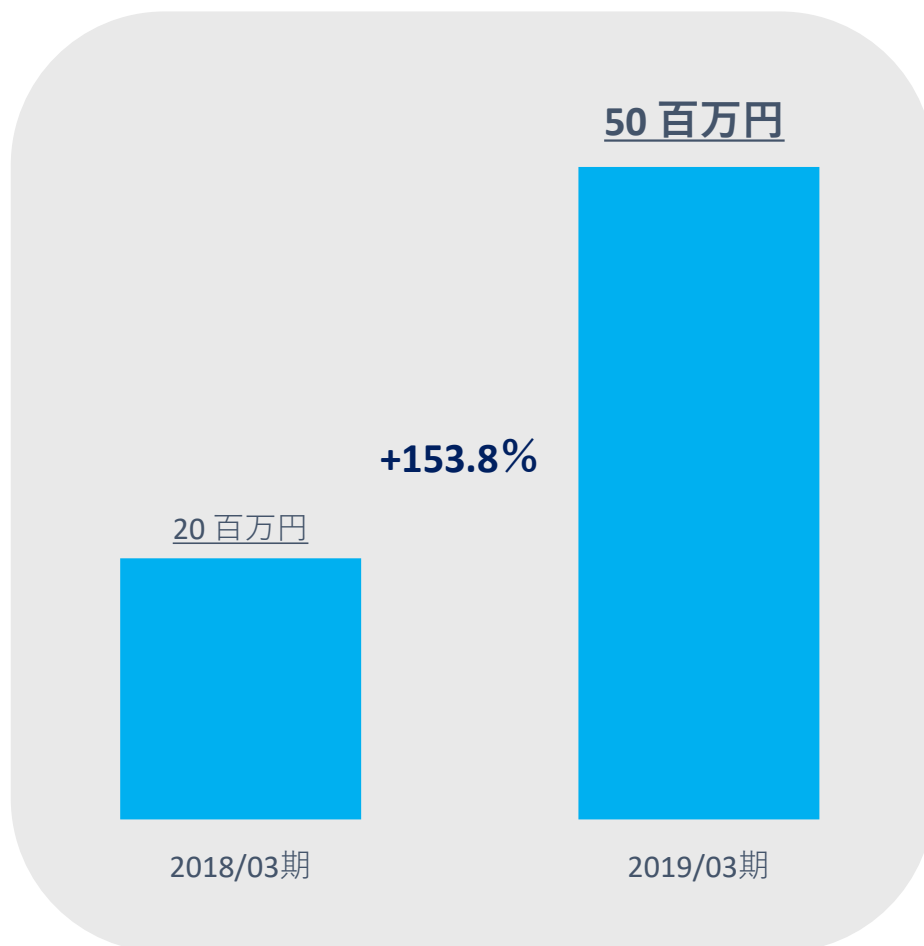


# メディア：広告収入24%増



利用者数増大（UU数前期比+9.9%、同訪問者数+20.6%）に牽引され、成果型報酬広告を中心に広告収入は24.7%増

# メディア：課金収入倍増

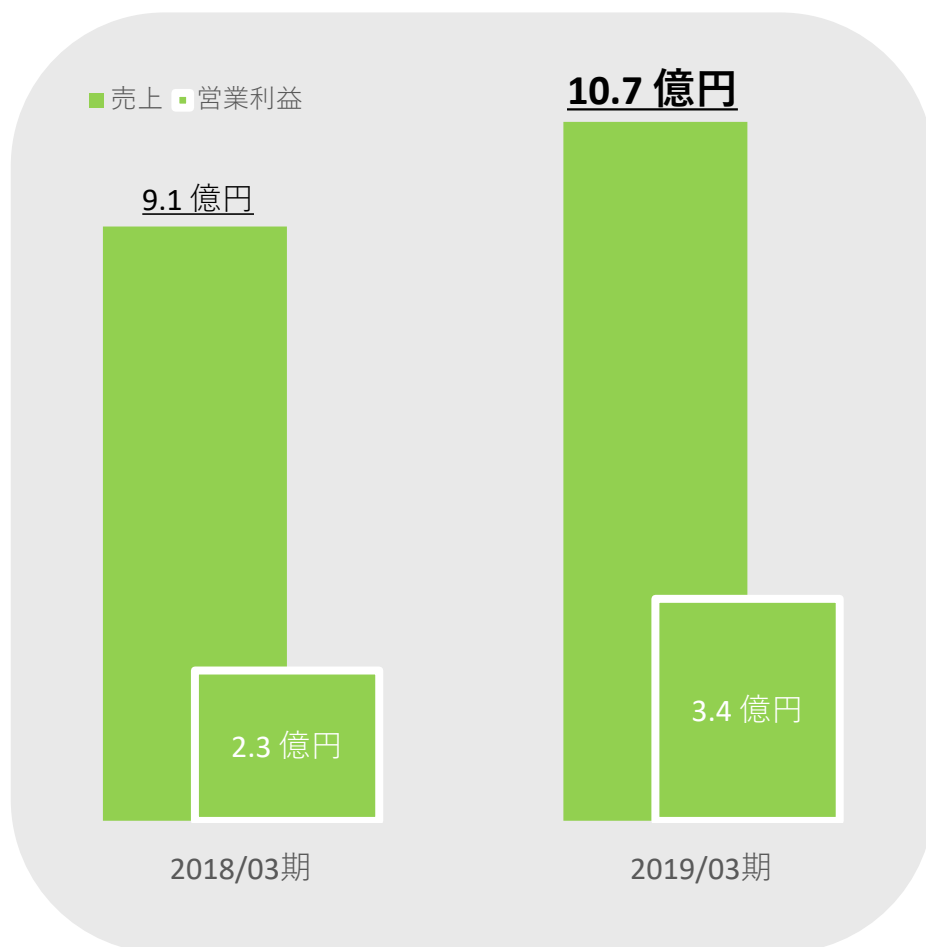


2018年3月期開始の課金サービスでは、  
通年寄与により課金収入の安定寄与  
を確認

# 保険、不動産サイトをリリース 金融情報分野の事業領域を拡大



# ソリューション：17%増収・43%営業増益



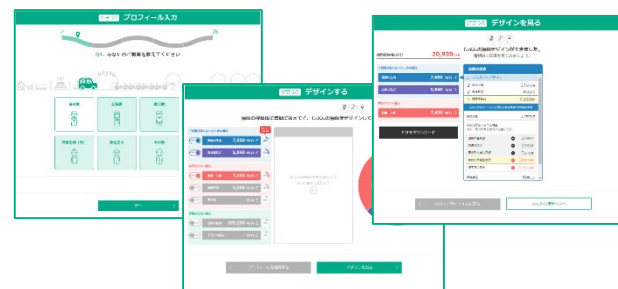
既存プロダクトの拡販、新規プロダクトのリリースにより、売上高10億円を達成。営業利益成長率は43.5%増を達成

# 新サービスを投入

**Corporate-Cue**  MINKABU



**InsureTech Solution**  MINKABU

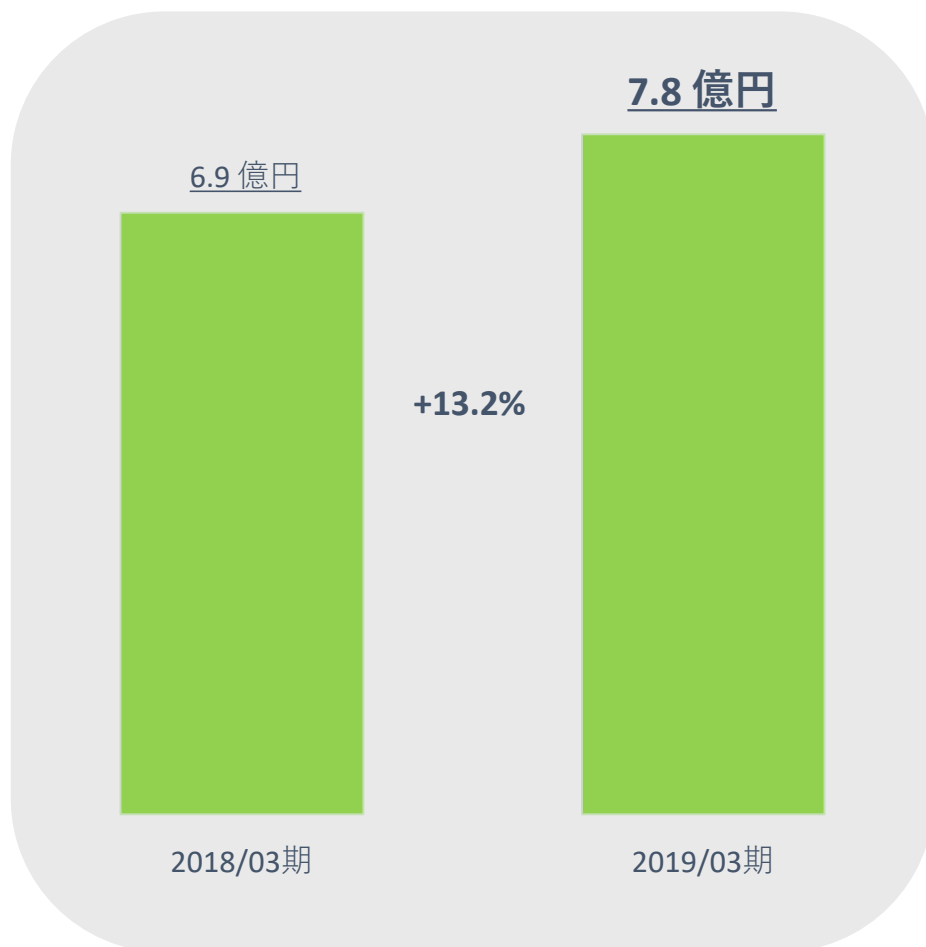


事業法人社内ユース向けサービス。上場企業の情報を取得・分析・報告するサービス。  
圧倒的な低価格が強み

地域金融機関向けB2B2Cサービス。保険会社横断型のデータを解析した、オムニチャネルに対応する保険ロボアド。

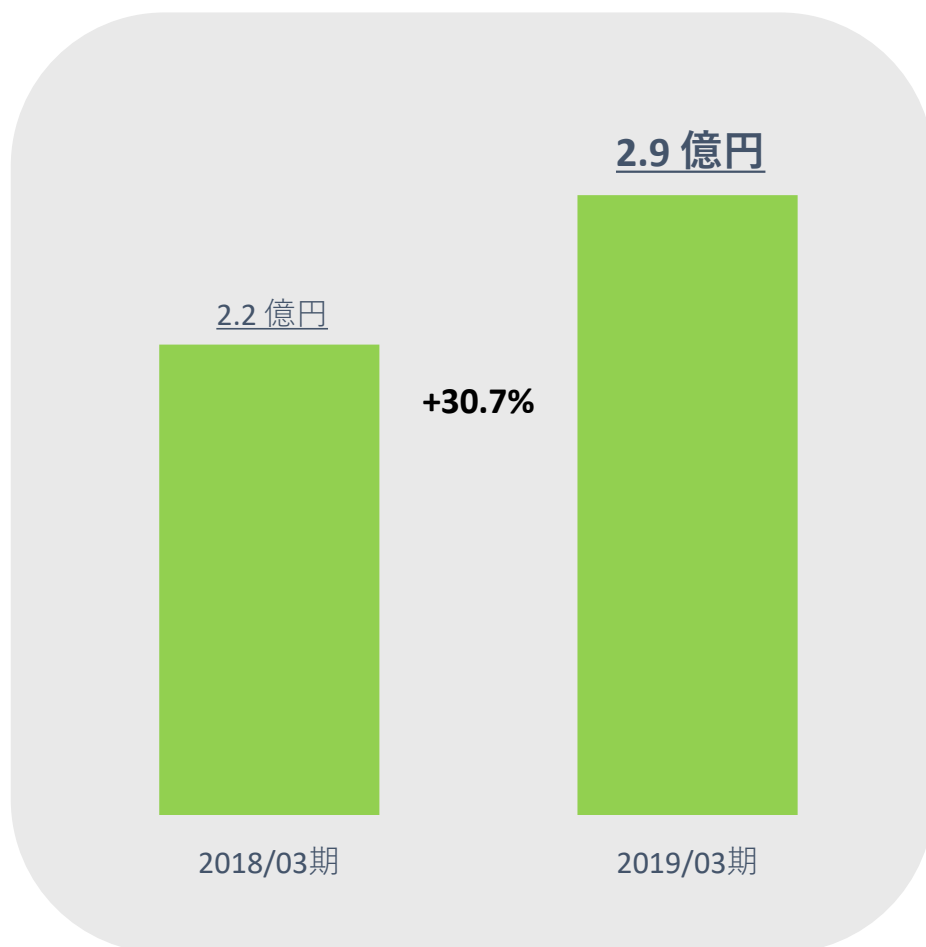
「みんかぶ保険」のホワイトラベル提供

# ソリューション：ストック収入13%増



収益の再現性・効率性を牽引する  
ストック収入は13.2%増

# ソリューション：初期・一時売上30%増



初期・一時売上は大型新規商材の  
リリースにより30.7%増加

2020年3月期以降のストック収入の  
拡大へ

# 税金資産がEPSへの寄与を開始



安定的な利益向上体質の構築により、税金資産がEPSへの寄与を開始

現状は、成長の継続前提として、翌年度分1年分を每期見積もる方針





01

2019年3月期実績 ..... 4

02

2020年3月期計画 ..... 18

03

APPENDIX ..... 32

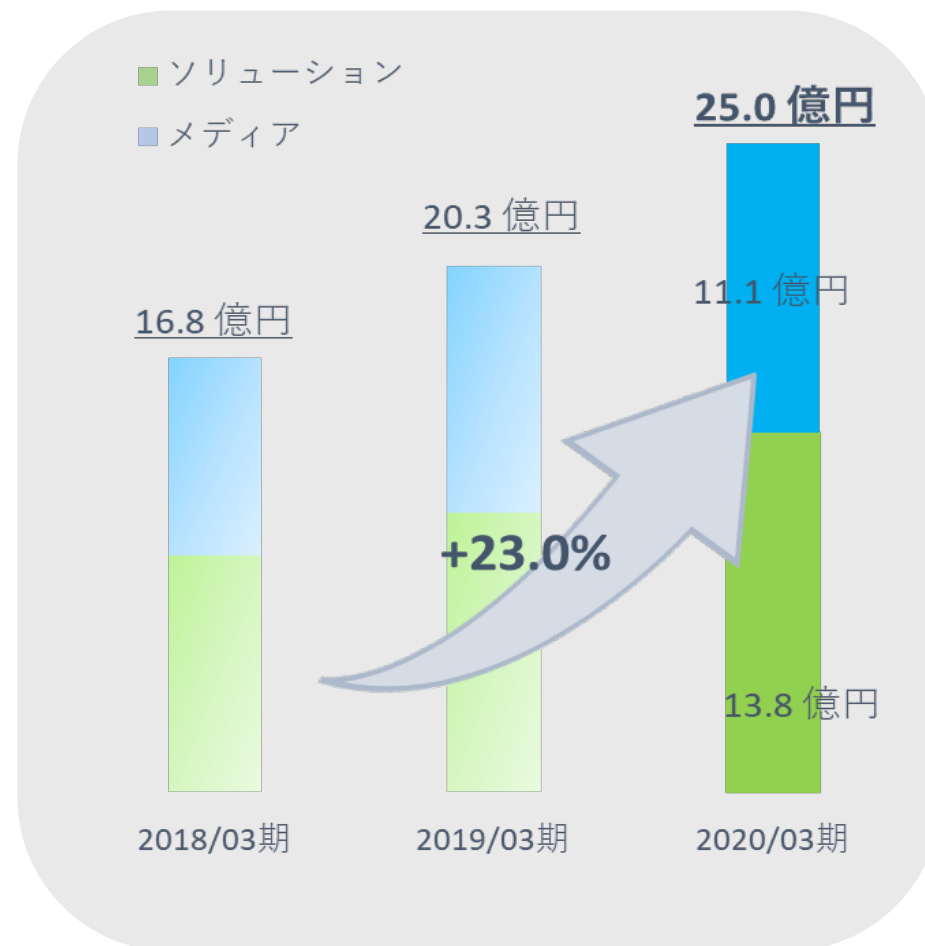
# 2020年3月期計画テーマ

1. 前期に導入したサービスの収益貢献の開始
2. 新しい課金サービスの導入に向けた開発の推進
3. スポーツ情報分野への参入に向けた開発の推進
4. 中長期的な成長、事業基盤の強化を目的とした人員増強
5. 外部パートナーとの提携強化、新規サービスの構築

# 23%増収を計画

既存のビジネスラインの安定成長+  
前期リリースの新サービスの通年寄与  
/拡大を反映

メディア事業のトラフィック成長、  
ソリューション事業の既存商材の拡  
販・新商材の投入時期及び一部の季節  
性を鑑み、前期以上に下期偏重の業績  
を計画



# 前期導入の新サービスが収益に貢献

## メディア

### **みんかぶ保険** (<https://ins.minkabu.jp/>)

ロボアドバイザーを保険に適用した無料サービス。ユーザーと生命保険会社による双方向参加型コミュニティとして提供。(株)三菱UFJフィナンシャル・グループの連結子会社Japan Digital Design(株)との共同運営

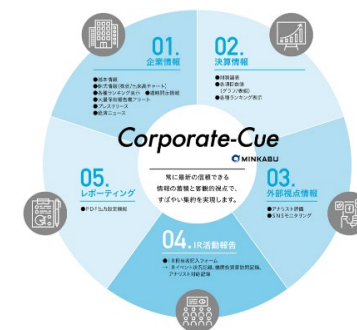
### **みんかぶ不動産** (<https://re.minkabu.jp/>)

独自のネットワークから厳選した物件情報や人気が高まりつつある不動産小口化商品などの豊富な不動産投資情報と、当社編集部による不動産投資にまつわるコラム記事や、初心者のための教育系コンテンツなどを提供。不動産投資という切り口で新たなユーザー層にリーチ

## ソリューション

### Corporate-Cue MINKABU

前期に設定を完了した各社から月額利用料を受領



### InsureTech Solution MINKABU



「みんかぶ保険」のホワイトラベル版。地域金融機関でのB2B2Cサービスとして展開中。

前期に初期導入を完了した各地域金融機関から月額利用料を受領

# メディア横断型の新課金サービスの投入へ

2018年3月期



「株探プレミアム」開始



2020年3月期

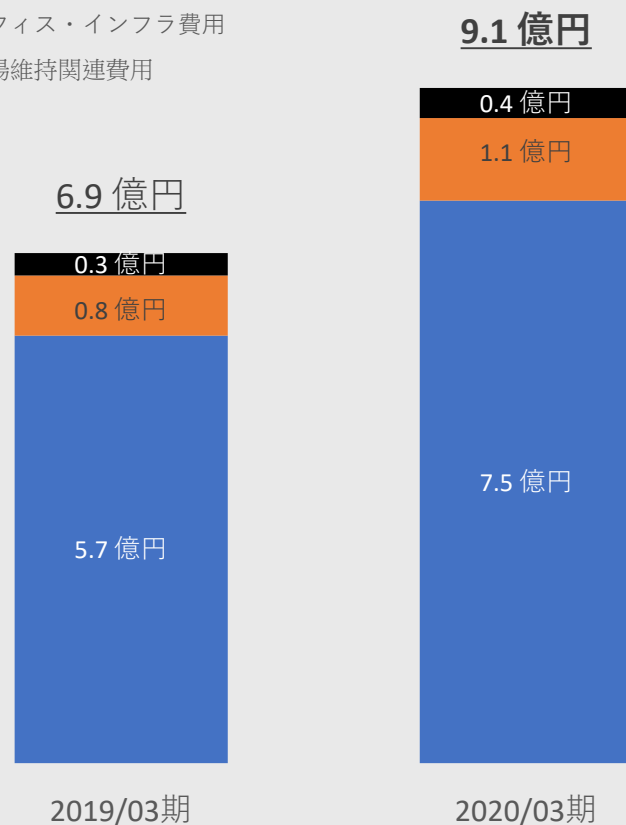


「みんなの株式」を含む  
運営メディア横断型の  
新課金サービスの投入へ

# 固定費増を計画

一般管理費において、事業領域拡大に伴う人件費増、前期実施の増床の影響を含むオフィス関連費用及び上場維持費用等の増を計画

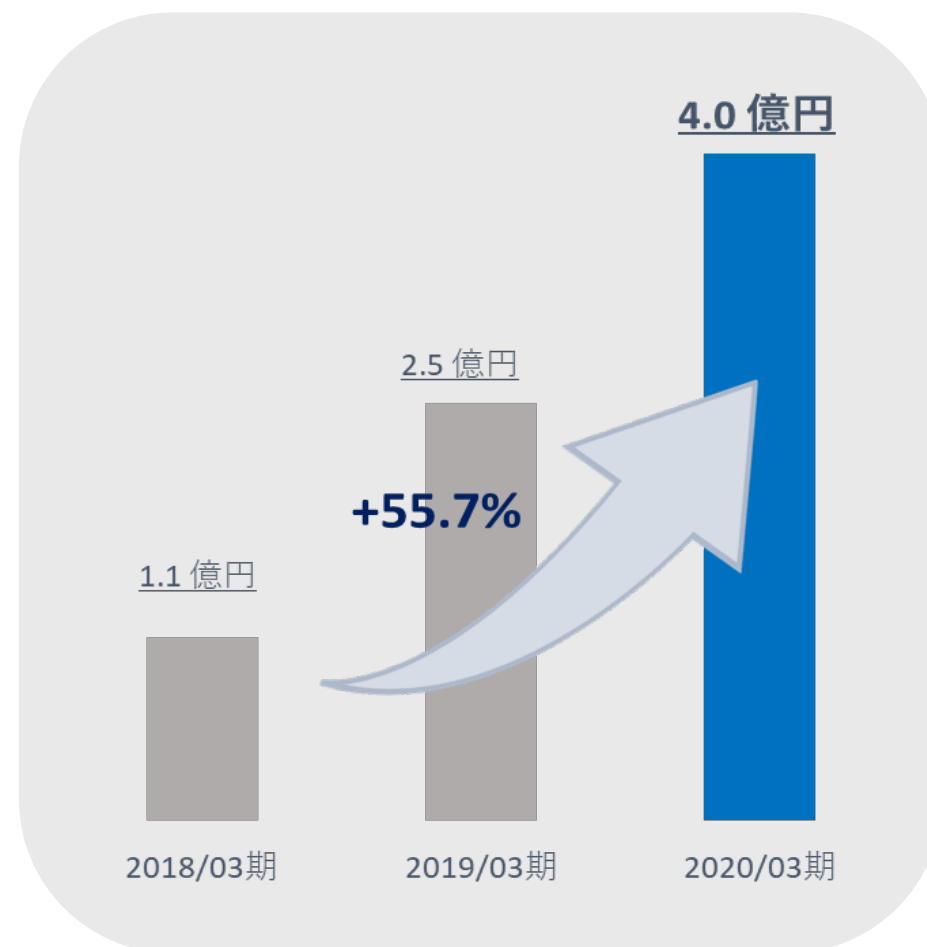
- 人件費関連(他勘定振替控除後)
- オフィス・インフラ費用
- 上場維持関連費用



# 55%営業増益を計画

増収に伴い、営業利益率は前期の12.6%から3.4ポイント上昇の16.0%で計画

営業利益55%増を計画



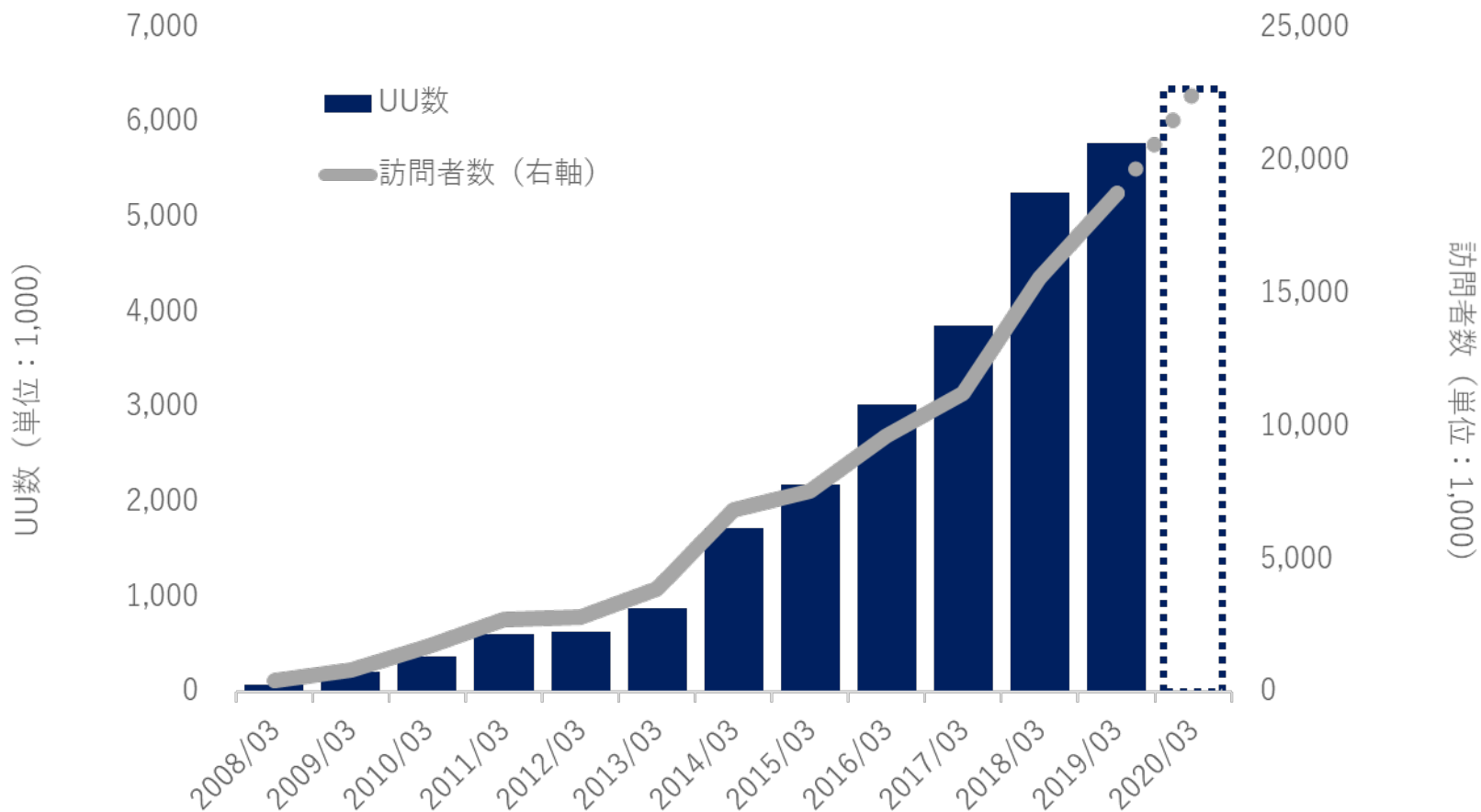
# EBITDA7億円を計画

継続的成長のための投資を継続  
しつつ、EBITDA7億円を計画



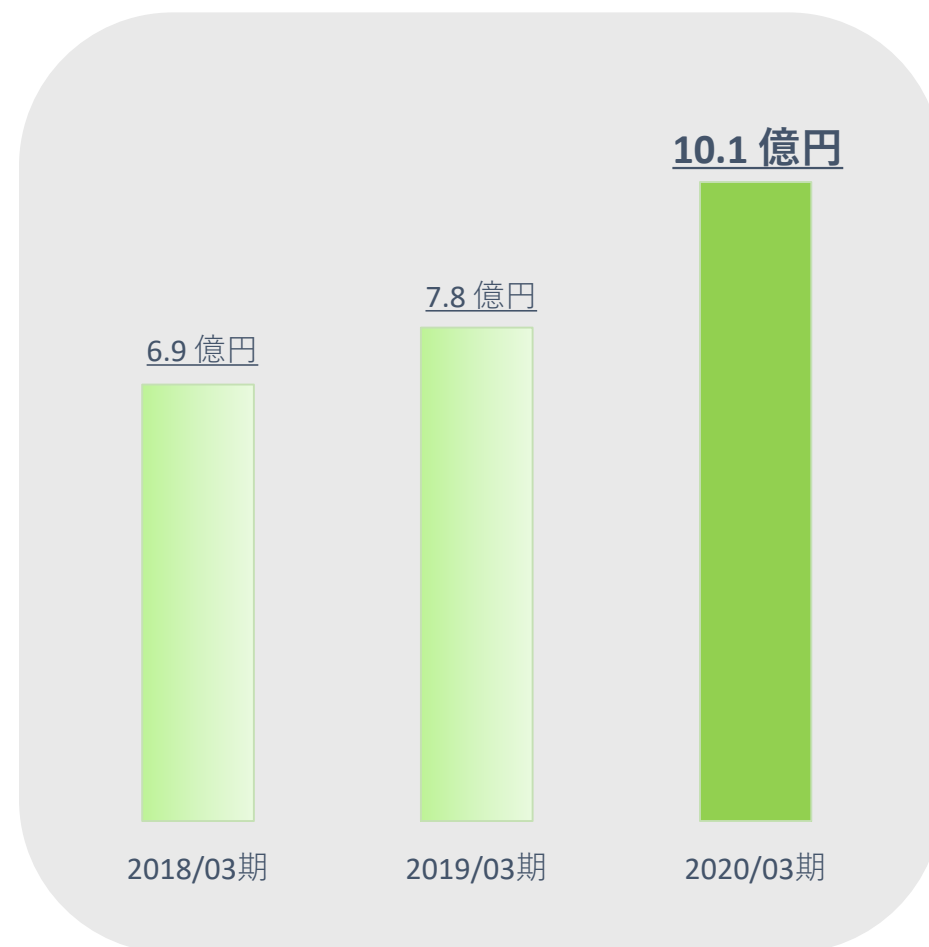


# メディア：利用者数の安定成長を計画



# ソリューション：ストック収入30%増を計画

既存サービスの継続的提供＋前期にリリースした新サービスの通年寄与を想定



# ソリューション：戦略サービスの投入

## 金融窓口のオムニチャネル化や成果報酬偏重の報酬体系化に伴うノウハウの継承の困難化に対するソリューション

### Sales-Cue MINKABU

#### 配信情報イメージ



**Sales-Cue 国内株式**

最新先物価格: 6172.47 (先物)

2,174円

投資信託

8,918円

パフォーマンス

| リターン    | 3ヶ月    | 6ヶ月   | 1年     | 2年     | 3年     | 2020    |
|---------|--------|-------|--------|--------|--------|---------|
| リターン    | 14.04% | 7.19% | 11.89% | +0.79% | +4.22% | +12.23% |
| 標準偏差    | 18.44  | 18.80 | 15.68  | 14.71  | 15.16  | 16.27   |
| シャープレシオ | -0.77  | -0.36 | -0.75  | +0.06  | -0.29  | +0.63   |

リスク・リターン分析

運用方針

1. マザーファンドへの投資を通じて、世界の株式市場を多角的にカバーし、安定した配当保証の確保に加え、中長期的な成長を追求します。
2. 世界を「北米」「欧州」「アジア・オセアニア（日本を含む）」の3地域に分割し、各地域への投資比率は概ね各地域内の先進国市場の投資可能な市場規模に比例して設定されます。
3. 地域別の投資にあたっては、さらに国別の目録に基づき、国別の市場の成長性や、企業のアダプティブネス、事業の継続性等を中心に設定比率を決定し、投資銘柄を選定します。
4. 地域毎に、投資銘柄の平均期待利回り相場平均に比べて期待利回りに優れる銘柄を選定し、銘柄として最終ヘッジを行います。
5. 新興市場については、銘柄として最終ヘッジを行います。

# 収益拡張性への投資

当社のコア・テクノロジーを活用した金融以外のニーズへの対応を本格化

2018年12月に発表したデータスタジアム様との協業によるスポーツ分野への展開は、2020年3月期中の商用化を計画

【スポーツ分野への展開】



# 積極的なパートナーシップ戦略を敢行

- 資本業務提携関係にある外部パートナーとのシナジーの創出  
(NTTデータ様、朝日新聞社様など)
- 優良な外部パートナーへの資本参加も含む積極的な連携強化  
(ウィルズ様など)
- JVや協業を中心とした新たな外部パートナーとの新規サービスの構築



情報の価値を具現化する仕組みを提供する



01

2019年3月期実績 ..... 4

02

2020年3月期計画 ..... 18

03

**APPENDIX** ..... 32

# PL推移

(単位：百万円 / %)

|                       | 2017年3月期       | 2018年3月期     | 2019年3月期     | 2020年3月期計画   |               |
|-----------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
|                       | (連結)           | (連結)         | (単体)         | (単体)         | 前期比           |
| <b>売上高</b>            | <b>1,545</b>   | <b>1,681</b> | <b>2,032</b> | <b>2,500</b> | <b>+23.0%</b> |
| メディア                  | 750            | 763          | 953          | 1,118        | +17.3%        |
| ソリューション               | 916            | 989          | 1,078        | 1,381        | +28.0%        |
| 調整額 ※1                | △ 121          | △ 72         | -            | -            | -             |
| <b>営業利益</b>           | <b>76</b>      | <b>110</b>   | <b>256</b>   | <b>400</b>   | <b>+55.7%</b> |
| メディア                  | 333            | 141          | 294          | 411          | +39.6%        |
| ソリューション               | 68             | 237          | 340          | 453          | +33.1%        |
| 調整額 ※2                | △ 325          | △ 268        | △ 378        | △ 465        | -             |
| <b>経常利益</b>           | <b>△ 85</b>    | <b>71</b>    | <b>208</b>   | <b>370</b>   | <b>+77.5%</b> |
| <b>当期純利益</b>          | <b>△ 1,408</b> | <b>△ 200</b> | <b>253</b>   | <b>370</b>   | <b>+46.2%</b> |
| <b>E B I T D A ※3</b> | <b>249</b>     | <b>291</b>   | <b>494</b>   | <b>700</b>   | <b>+41.6%</b> |

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期の連結財務諸表にかかる会計監査は実施されておられません。



# BS推移

(単位：百万円 / %)

|              | 2017年3月期<br>(連結) | 2018年3月期<br>(単体) | 2019年3月期     |                |
|--------------|------------------|------------------|--------------|----------------|
|              |                  |                  | (単体)         | 前期比            |
| 流動資産         | 1,527            | 815              | 2,395        | +193.8%        |
| うち 現金及び預金    | 1,267            | 470              | 2,045        | +334.8%        |
| 固定資産         | 1,282            | 1,170            | 1,530        | +30.8%         |
| <b>資産合計</b>  | <b>2,810</b>     | <b>1,985</b>     | <b>3,926</b> | <b>+97.8%</b>  |
| 流動負債         | 1,256            | 560              | 958          | +71.0%         |
| 固定負債         | 714              | 506              | 281          | △44.3%         |
| <b>負債合計</b>  | <b>1,971</b>     | <b>1,066</b>     | <b>1,239</b> | <b>+16.2%</b>  |
| 資本金          | 666              | 801              | 1,558        | +94.5%         |
| 資本剰余金        | 2,650            | 2,824            | 3,581        | +26.8%         |
| 利益剰余金        | △ 2,472          | △ 2,706          | △ 2,453      | -              |
| その他          | △ 5              | 0                | 0            | -              |
| <b>純資産合計</b> | <b>839</b>       | <b>918</b>       | <b>2,686</b> | <b>+192.4%</b> |

※1 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期は個別決算数値を記載しております。

※2 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を、2018年3月期期首から適用しており、繰延税金資産は固定資産の区分に含め表示しております。

# セグメント売上推移

(単位：百万円 / %)

|                  | 2017年3月期     | 2018年3月期     | 2019年3月期     | 2020年3月期計画   |               |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
|                  | 連結           | 連結           | 単体           | 単体           | 前期比           |
| <b>メディア事業</b>    | <b>728</b>   | <b>763</b>   | <b>953</b>   | <b>1,118</b> | <b>+17.3%</b> |
| 広告収入             | 679          | 691          | 862          | 1,025        | +18.9%        |
| 課金収入             | -            | 20           | 50           | 77           | +52.3%        |
| その他              | 48           | 51           | 40           | 15           | △60.4%        |
| <b>ソリューション事業</b> | <b>816</b>   | <b>917</b>   | <b>1,078</b> | <b>1,381</b> | <b>+28.0%</b> |
| ストック収入           | 722          | 690          | 782          | 1,012        | +29.5%        |
| 初期・一時売上          | 94           | 227          | 296          | 368          | +24.2%        |
| <b>合計</b>        | <b>1,545</b> | <b>1,681</b> | <b>2,032</b> | <b>2,500</b> | <b>+23.0%</b> |

※ 2017年3月期及び2018年3月期の連結数値は、外部売上



# MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。